

広報

# おばま 11

2010



《表紙》

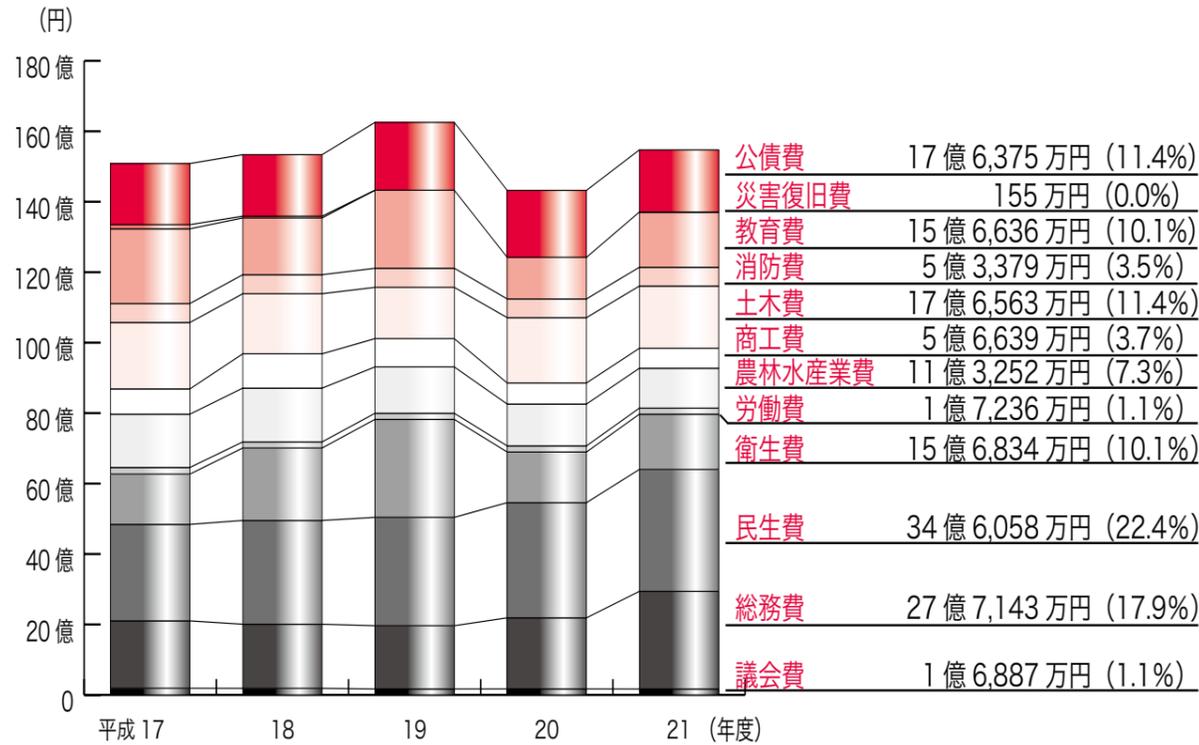
今年も盛大に開催した  
OBAMA 食のまつり（8ページ参照）。体験コーナーの「讃岐うどん親子教室」も大人気の様子。参加者は「うどん作りは初めて。楽しいしおいしいし、大満足」と笑顔いっぱいでした。

（10月10日）

【特集】平成21年度 決算報告

# 平成21年度 決算報告

## 一般会計「歳出」 154億7,157万円



### ●主なもの

#### 民生費

老人・児童・障がい福祉などに使うお金です

#### 教育費

各小学校の体育館の耐震化工事などで3億8,665万円増加しました

#### 公債費

市債（借入金）の返済に使うお金です

#### 総務費

定額給付金や地上デジタル放送対応の伝送路整備で7億5,541万円増加しました

#### 衛生費

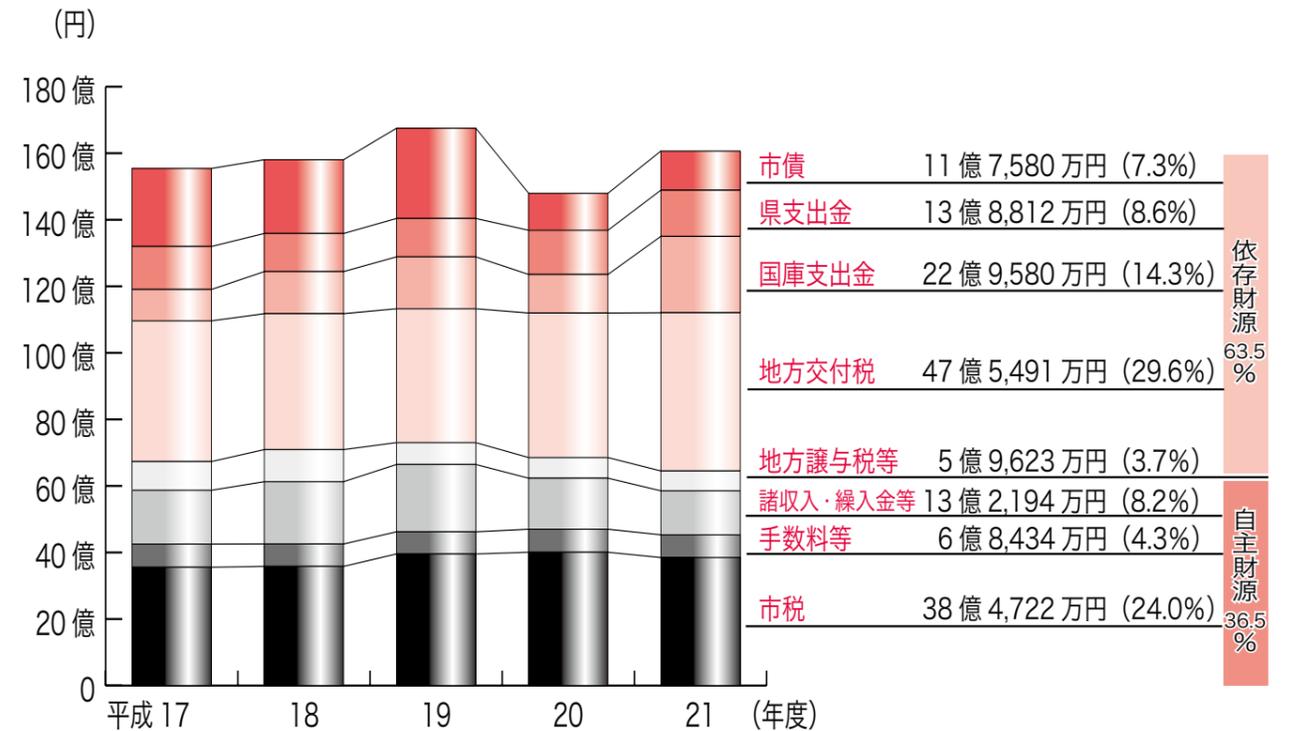
病気予防やごみ処理などに使うお金です。杉田玄白記念公立小浜病院の高度医療施設整備のため負担金が増加したことから1億3,111万円増加しました

平成21年度の決算がまとまりました。小浜市の財政状況が、5年前からどのように変わってきているのか、グラフを使ってお知らせします。

■問い合わせ 財政課 ☎内線 333

平成21年度は国の経済対策と公共事業の前倒しを行ったため、同20年度と比較して歳入総額は12億6,898万円増加し、歳出総額も11億4,797万円増加しました。

## 一般会計「歳入」 160億6,436万円



### ●主なもの

#### 市税

皆さんに納めていただいている市民税、固定資産税、都市計画税など

#### 地方譲与税

国税の一部が一定の基準で譲与されたもの

#### 地方交付税

財政力に応じて国から交付されるもの。平成20年度より4億1,141万円増加しました

#### 国庫支出金

市が行う事業に対し、用途を限定して国から交付されるもの

#### 諸収入・繰入金等

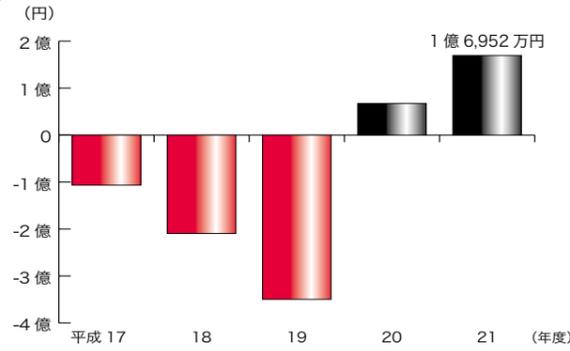
繰入金や受託事業収入、雑入、基金の取り崩しなど

#### 市債

借入金のこと

一般会計は、国の経済対策で定額給付金や公共事業の前倒しを行ったため、前年度決算規模と比べて約8%増加しました。歳入では、地方交付税が三位一体の改革以前までに復元しましたが、景気の低迷で市税は減少しました。また、歳出では大型プロジェクトにかかる借入金の返済が平成23年度にピークを迎えることから、財政状況は依然厳しい状態にあります。今後も「行政のスリム化」「支出のダイエット」に取り組み、持続可能な財政運営を行います

## 実質単年度収支



実質単年度収支＝実質収支－前年度実質収支＋  
基金の積み立てなど－基金の取り崩しなど

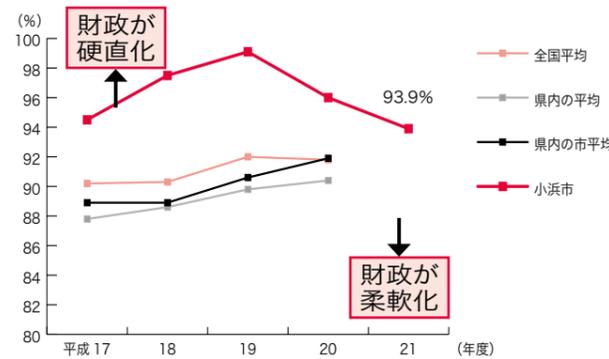
純粋な単年度収支状況を表したもので、財政調整基金の取り崩しは、マイナスに働きます。平成 16 年度以降、4 年連続で赤字でしたが、国の経済対策で建設事業の市負担分やソフト事業などに交付金を充当したこと、人件費や物件費などを抑制したことで 2 年連続黒字になりました。

## 経常収支比率

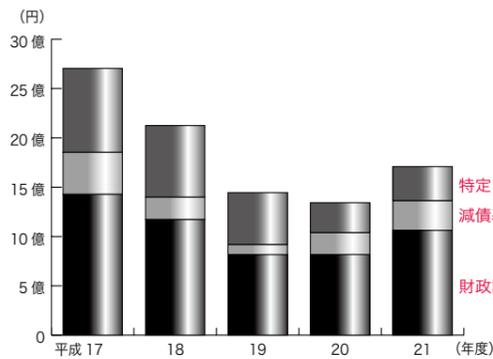
経常収支比率＝ $\frac{\text{経常的に支出される経費}}{\text{経常的に収入する金額}}$

家計に例えると、住居費、光熱水費など毎月確実に支出される経費が、給料のどのくらいを占めるかを表します。数値が低いほど自由に使えるお金が多くなります。

平成 21 年度に下がったのは、人件費の減少などによるものです。



## 市有財産（貯金残高）



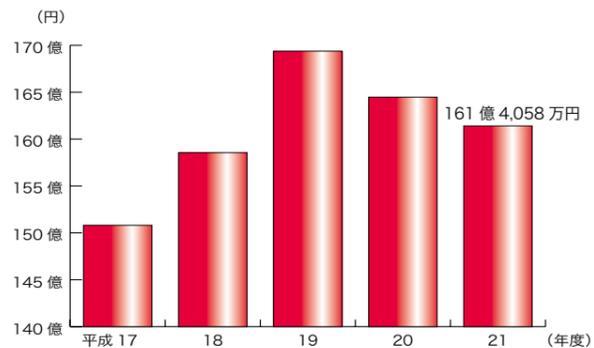
特定目的基金…使い道がしっかり決まった貯金  
減債基金…借入金返済のための貯金  
財政調整基金…使い道が決まっていない貯金

大型プロジェクトにかかる借入金の返済が平成 23 年度にピークを迎えることと今後の大規模事業にそれぞれ対応するため、各基金に積み立てました。

## 借入金残高（普通会計）

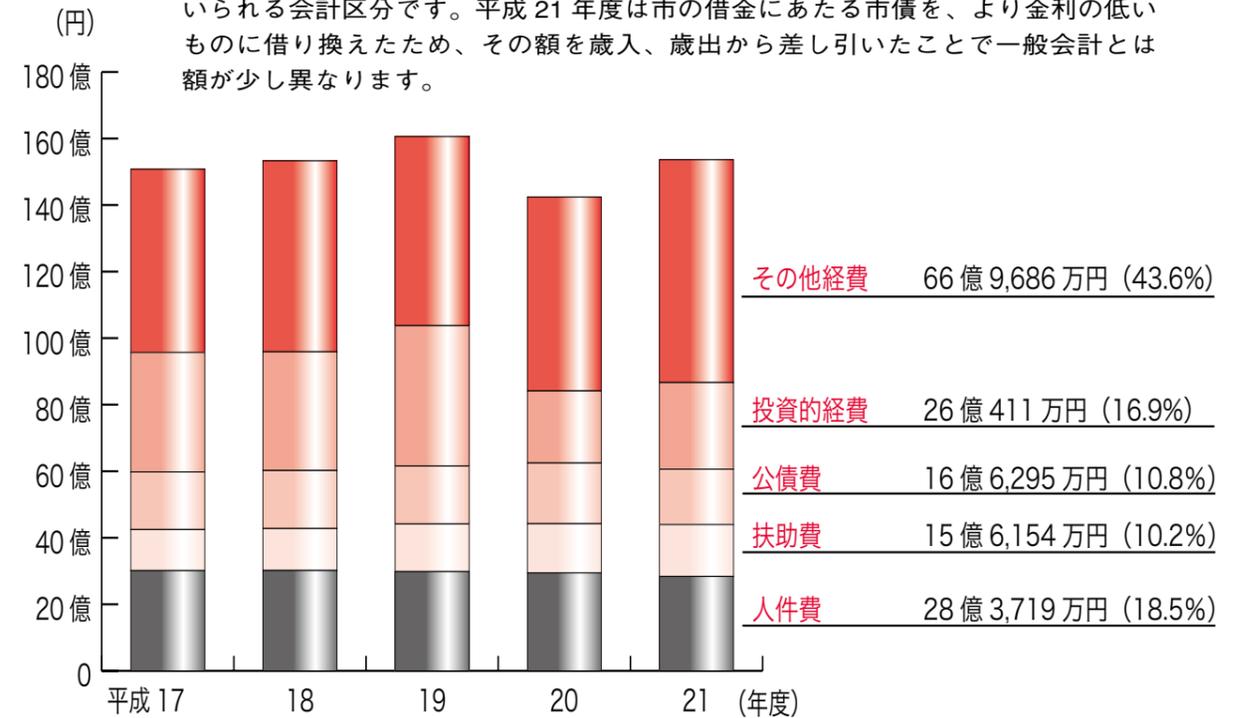
平成 17～19 年度に増加した原因は、「リサイクルプラザ」「小浜小学校」の建設費として約 31 億 5 千万円を借り入れたためです。

中期財政計画で新たな借金を抑制していく方針であり、今後減少していく予定です。



## 性質別歳出「普通会計」 153 億 6,265 万円

普通会計とは、全国の自治体の財政比較などを行うために、統計上統一的に用いられる会計区分です。平成 21 年度は市の借金にあたる市債を、より金利の低いものに借り換えたため、その額を歳入、歳出から差し引いたことで一般会計とは額が少し異なります。



### 投資的経費

道路や施設の建設費です。山手団地 1, 2 号棟の建設や各小学校の耐震化、そらのとり保育園建設を行ったため 4 億 4 千万円増加しました

### その他経費

後期高齢者医療制度の本格稼働や下水道事業特別会計の借入金にかかる繰出金と今後の公債費増加に備えて積み立てを行ったため、平成 20 年度より約 8 億 6 千万円増加しました

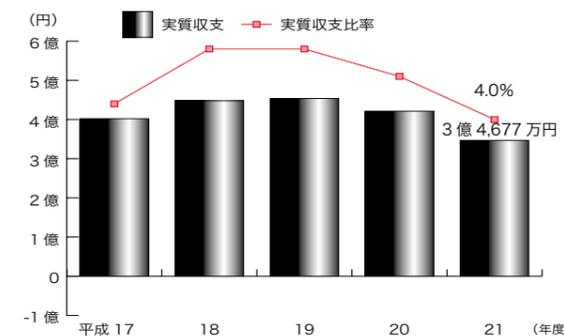
### 公債費・扶助費・人件費（義務的経費）

平成 20 年度と比べ、人件費が 3.7% 減少、扶助費（社会保障制度）が 5.7% 増加、公債費（借入金の償還）が 8.8% 減少し、全体で 3.0%、約 1 億 8 千万円減少しました

### その他経費の内訳

物件費、維持補修費、補助費等、積立金、投資及び出資金、貸付金、繰出金

## 実質収支と実質収支比率



実質収支＝歳入－歳出－翌年度に繰り越すべき財源

実質収支比率＝ $\frac{\text{実質収支}}{\text{標準財政規模}}$

平成 21 年度から、実質収支比率が一定以上の赤字になると、国などが関与して財政の健全化を行うこととなります。

小浜市は現在、黒字が続いています。

# 健全化判断比率で小浜市の財政状況を見る

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に規定された財政指標について次のとおり公表します。小浜市では、いずれの指標とも早期健全化基準以下であり、健全（安全）な財政状況です。

## ①実質赤字比率

一般会計の赤字額の程度を指標化して、財政運営の深刻度を示すものです。この比率が高くなるほど、歳入確保と歳出削減の対応策が必要となります。

小浜市では実質赤字額がないため算定されません。

## ②連結実質赤字比率

一般会計だけではなく、特別会計と企業会計も合算した額で赤字額の程度を指標化して市の財政状況を示すものです。

小浜市では連結実質赤字額がないため算定されません。

	①実質赤字比率	②連結実質赤字比率	③実質公債費比率	④将来負担比率
小浜市の比率	赤字なし	赤字なし	13.8	136.0
早期健全化基準	13.58	18.58	25.0	350.0

※早期健全化基準を超えると、財政健全化団体となり財政健全化計画の策定が義務づけられます

## ③実質公債費比率

市の借入金返済額と一部事務組合（消防や病院など）に対して市が負担すべき経費を、市税と地方交付税などの額と比較して指標化し、その資金繰りの危険度を示すものです。

小浜市は、「リサイクルプラザ」「小浜小学校」建設にかかる借入金の返済（公債費）が平成23年度にピークを迎えます。

## ④将来負担比率

市の一般会計の借入金（地方債）や将来支払わなければならない可能性のある負担などを、現時点の残高で指標化し、将来、その負担額が市の財政運営を圧迫する可能性が高いかどうかを示すものです。

小浜市は、借金の残高が減少していくことから徐々に改善されると考えられます。しかし、本市以外の組合や第三セクターの経営状況にも左右されるため、その動向にも注視していきます。

## 資金不足比率

「資金不足比率」とは、公営企業の資金不足を、料金収入などの規模で示される事業規模と比較して指標化し、各公営企業会計の経営状況の深刻度を示すものです。

この比率が高くなるほど料金収入などで資金不足額を解消することが困難になり、当該公営企業としては経営状況に問題があることとなります。

会計名	資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	—	20.0
国民宿舎事業会計	—	20.0
簡易水道事業特別会計	—	20.0
下水道事業特別会計	—	20.0
農業集落排水事業特別会計	—	20.0
漁業集落環境整備事業特別会計	—	20.0

※資金不足比率については、資金不足額がないため算定されません

※詳しくは小浜市公式ホームページをご覧ください

## 特別会計

会計名	歳入額	歳出額
国民健康保険事業特別会計	31億7,452万円	29億7,130万円
加斗財産区運営事業特別会計	3万円	2万円
簡易水道事業特別会計	9,608万円	8,825万円
駐車場事業特別会計	2,602万円	2,386万円
老人医療特別会計	2,524万円	2,134万円
下水道事業特別会計	31億3,750万円	30億5,632万円
農業集落排水事業特別会計	5億2,754万円	5億2,133万円
漁業集落環境整備事業特別会計	6,782万円	6,698万円
介護保険事業特別会計	28億4,935万円	27億9,920万円
後期高齢者医療特別会計	3億5,396万円	3億5,350万円

特別会計とは、特定の事業を行う場合や特定の収入で事業を行う場合に、一般会計とは区別して経理を行う会計です。特別会計では、使用料や保険料などの収入が主な財源になります。

## 企業会計

企業会計とは、民間企業と同じように事業で得る収益で運営する独立採算型の会計です。

### 《水道事業》

損益計算書

営業費用	3億2,713万円	営業収益	4億1,343万円
営業外費用	6,996万円	営業外収益	687万円
当年度純利益	2,321万円		
計	4億2,030万円	計	4億2,030万円

貸借対照表

流動資産	4億1,443万円	流動負債	3,376万円
固定資産	66億3,194万円	資本金	34億4,669万円
		剰余金	35億6,592万円
計	70億4,637万円	計	70億4,637万円

### 《国民宿舎事業》

損益計算書

営業費用	6,847万円	営業収益	5,759万円
特別損失	64万円	営業外収益	186万円
当年度純損失	966万円		
計	5,945万円	計	5,945万円

貸借対照表

流動資産	6,071万円	流動負債	0万円
固定資産	8,258万円	資本金	1億2,982万円
		剰余金	1,347万円
計	1億4,329万円	計	1億4,329万円

## 小浜市土地開発公社

損益計算書

事業原価	1億4,188万円	事業収益	1億2,793万円
販売費・一般管理費	87万円	事業外収益	380万円
事業外費用	746万円		
当期純損失	1,848万円		
計	1億3,173万円	計	1億3,173万円

貸借対照表

流動資産	11億4,474万円	流動負債	2億円
固定資産	11万円	固定負債	8億3,036万円
		資本金	400万円
		準備金	1億1,049万円
計	11億4,485万円	計	11億4,485万円

## 第3セクター

### 《(株) ケーブルテレビ若狭小浜》

損益計算書

営業費用	3億491万円	営業収益	3億8,325万円
営業外費用	310万円	営業外収益	356万円
特別損失	3億698万円	特別利益	2億5,811万円
法人税等	831万円		
当期純利益	2,162万円		
計	6億4,492万円	計	6億4,492万円

貸借対照表

流動資産	2億2,502万円	流動負債	4,131万円
固定資産	6億4,221万円	固定負債	6億99万円
繰延資産	102万円	資本金	4,000万円
		剰余金	2億2,595万円
計	8億6,825万円	計	8億6,825万円

### 《(株) 小浜市総合卸売市場》

損益計算書

営業費用	1,762万円	営業収益	1,955万円
営業外費用	1万円	営業外収益	42万円
法人税等	71万円		
当期純利益	163万円		
計	1,997万円	計	1,997万円

貸借対照表

流動資産	1,940万円	流動負債	3,673万円
固定資産	1億6,694万円	固定負債	844万円
		資本金	8,000万円
		利益剰余金	6,117万円
計	1億8,634万円	計	1億8,634万円